



辺野古も止めよう!! 陸上イージスにならえ!!

陸上イージス取り止め

北鮮からハワイ、グアムに向かうミサイルは秋田と山口の高々度を通る。それをブースター(補助ロケット)付のミサイルで撃つのがイージスシステム。撃つとブースターが周辺に落ちる。米国の基地は広い。落ちる所は気にしない。

狭い日本の基地では周辺に落ちる。これでは住民は納得しない。専門家はこんな事は最初から分かっていた。

安倍首相がトランプのご機嫌取りの為、六千億余で買うと決めた。一部金も払い「何とかして」と交渉したがどうにもならず取り止め。

辺野古も同じ

辺野古埋め立てには九千億円超、十二年かかる予定。出来た頃には

は基地のあり方その物が時代遅れになる。第一に七十mもある超軟弱地盤の改良、埋立てができるか、技術的にも疑問だ。

沖縄では県民投票で七割が辺野古の埋立てに反対。住民の納得はない。例え一旦始めた工事もイージスに倣い止めれば良い。

「普天間基地の危険性除去」を本心から云うなら、先ず飛行を停止すべきだ。

沖縄差別をやめよ

住民の納得が得られないと陸上イージスを取り止める一方、沖縄では住民の意向無視。

沖縄には住民一人当り本土の百倍の米兵を押しつけている(註)。

差別を改めるべきだ。あなたはどうか思われますか?

(註)日曜ジジ通信286号 「山下徹 あおぞら」で検索。「日曜通信」から

本牧の船溜まり

神奈川県横浜市中区新山下三丁目

二〇二〇年六月



2020.6.13 徹

本牧埠頭A突堤に船溜まりがある。ヨットやレジャー用のモーターボートが停泊している一方、大きな船も。貨物のコンテナ化で船の出番はなくなっていたと思っていれば、曳船に引かれ貨物満載の船が入ってきた。

コンテナに入りきらない大きな輸出用プラント機器を扱ったり、飼料穀物のサイロがいっぱいの時、一時的に倉庫の役割をしているのか・・・。

一九七〇年頃は船輸送の黄金時代。横浜港で一七〇〇隻の船が稼働。沖の船から船で運ばれた貨物を沖仲仕が担いで下ろした。学生のアルバイトはウオッチマン。担いだ荷物を掠めないように見張る。学生の腕力で取り締まれる訳は無く、ただ、親方に知らせるだけ。そんな事を思い出した。

